

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2019年 3月 29日

<p>テーマ名</p>	<p>中小企業に於けるAI ～ 中小企業の働き方改革へのAIの活用 ～</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>企業内ITコーディネータ・ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号：03-5953-6121 e-mail：fukurawa@astop-si.co.jp</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号： e-mail：</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>ここ数年、囲碁AI(人工知能)のすさまじい進化も相まって、一般の方々の認識も「昨今のAIの進化は目覚ましいものがある…」と云うところに落ち着いているように見受けられる。 大手企業やITベンチャー企業ではAIの導入・活用が進められている一方で、一部の中小企業においても営業力の強化や管理業務工数の低減など、既にAIの活用による成果が見られている。 今年度の研究テーマは、AIの概要を理解し、中小企業での活用事例等をふまえ、特に「中小企業の働き方改革へのAIの活用」を推進すべく、ITコーディネータとしてAIの活用を中小企業の経営改善のヒントとして頂けるよう纏めることに主眼を置き、論述させて頂く形式になっている。</p>	
<p>成果物</p>	<p>章立ては、 1章はじめに(第3次AIブームについて) 2章AIの現状で確認されている経営上の効果とは何か 3章AIの利用シーン 4章中小企業にとってのAIと働き方改革への活用 5章ITCはAIを通して中小企業に対して何をすべきか 6章まとめ(中小企業に役立つAIの未来に何を期待すべきか) とし、更に巻末の10ページを割いて「AI利用のためのQ&amp;A」を述べている。</p>	

<p>事務局受付日</p>	<p>2019/3/27</p>
<p>案件番号</p>	<p>S18004</p>